

幼稚園はどんなところ？

幼稚園は子どもがはじめて出会う学校です。

学校教育のスタートは幼稚園から

○「学校」というと小学校からと思いませんか。幼稚園も学校教育法に基づく「学校」です。
3歳から小学校入学前までの子どもは、全国どこでも共通の教育課程に基づく教育が受けられます。

○学校教育法第1条（文部科学省）

「この法律で、学校とは、幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学及び高等専門学校とする。」と、学校教育法・第1条に規定されています。
幼稚園は、学校教育法に基づく幼児教育を行う学校です。従って、管轄は文部科学省です。

「遊び」は重要な学習です

○幼稚園は、遊びを大切にした教育を行っています。

この時期に思い切り遊ぶことで、その後の学びや創造性が豊かになるといわれています。

○このため、幼稚園では、小学校以降の教育と異なり、教科書を使わず、「遊び」中心の活動を行っています。これらの「遊び」は、「国語」や「算数」などと同じように子どもの将来にとって重要な学習なのです。

小学校以降の学習の基盤は幼稚園で作られます

○幼稚園の「遊び」と小学校の「国語」や「算数」などは、一見何のつながりもないように見えるかもしれませんが、子どもは、幼稚園で様々な遊びを通して、うまく人とかわれるようになったり、言葉が豊かになったり、自然の美しさや不思議さなどに気付いたりすることで、小学校以降の学習の基盤をつくっているのです。

幼稚園の目的

◎学校教育法第二十二條

幼稚園は、義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、幼児を保育し、幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的としています。

幼稚園教育の目標

◎学校教育法第二十三條

幼稚園における教育は、前条に規定する目的を実現するため、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとします。

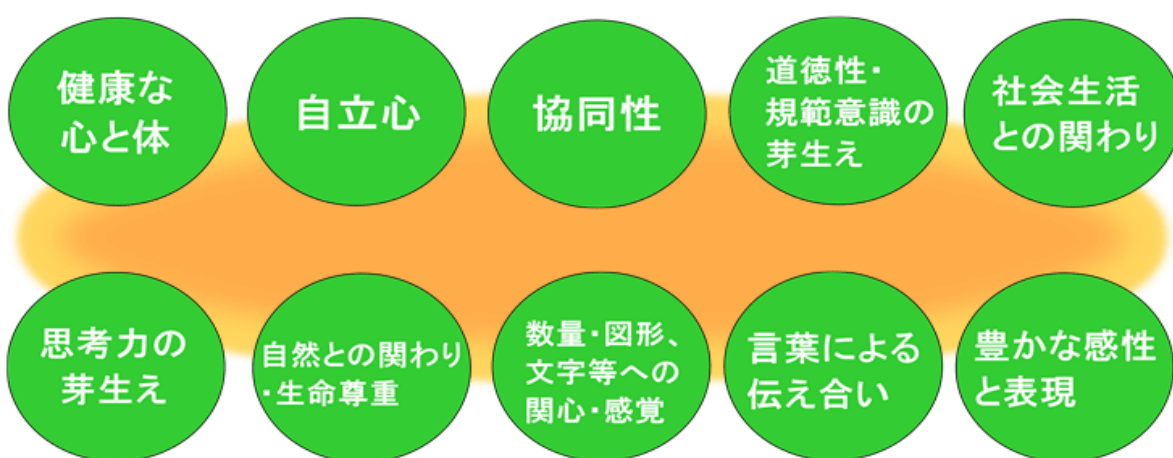
1. 健康、安全で幸福な生活のために必要な基本的な習慣を養い、身体諸機能の調和的発達を図ること。
2. 集団生活を通じて、喜んでこれに参加する態度を養うとともに家族や身近な人への信頼感を深め、自主、自律及び協同の精神並びに規範意識の芽生えを養うこと。
3. 身近な社会生活、生命及び自然に対する興味を養い、それらに対する正しい理解と態度及び思考力の芽生えを養うこと。
4. 日常の会話や、絵本、童話等に親しむことを通じて、言葉の使い方を正しく導くとともに、相手の話を理解しようとする態度を養うこと。
5. 音楽、身体による表現、造形等に親しむことを通じて、豊かな感性と表現力の芽生えを養うこと。

幼稚園教育要領

(平成29年3月告示 平成30年4月より施行)

小学校の「スタートカリキュラム」につなげて幼児期の教育は、教科を中心とする小学校以上の教育と違って、遊びを中心とした生活を通じて、生涯にわたる人格形成の基礎を培うことが基本です。さまざまな体験を積み重ねるなかで、お互いを関連させながら、徐々に育むこととしています。そこで、5領域を維持しつつも、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」として、以下の事項を示しています。

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿の明確化(整理イメージ)



幼稚園教育要領（5領域）

5領域は、子どもの発達を「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」という5つの側面から捉えたものです。

1. 健康・・・健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う。
2. 人間関係・・・他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人とのかかわる力を養う。
3. 環境・・・周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもってかかわり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う。
4. 言葉・・・経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う。
5. 表現・・・感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。



年間教育目標とねらい



1 学期

適応の時期

2 学期

発展の時期

3 学期

充実の時期



★満3歳児

- 新しい環境に親しみ、年上の友達や保育者に見守られている安心感を持ち好きな遊びを楽しむ。
- 基本的な生活習慣を身につけ、のびのびとした園生活を送る。

★3歳児

- 園生活の流れがわかり、身の回りの始末を自分でしようとする。
- 基本的な生活習慣が身につき、自信を持ってのびのびと行動する。
- 進んで異年齢の友達と関わり、信頼感や愛情を持って活動に取り組む。

★4歳児の年間目標

- 異年齢の友達と刺激を受け合い、思いやりや協調性を持って相手の気持ちを受容する。
- いろいろな遊びに興味を持ち、保育者や友だちとの関わりを広げる。
- 身近な環境に興味・関心を持ち、発見を楽しんだり、考えたりする。

★5歳児の年間目標

- 主体的に活動に取り組み、友だちを認め合ってグループ遊びが進められるようになる。
- 年長としての役割を自覚し、意欲的に活動する中で年下の友だちとのかわりを深め思いやりやいたわりの気持ちを持つ。
- 自然や身近な事象に興味・関心を持ち、好奇心や探究心を高めていく。
- 就学に向けて目標を持ち、自覚と自信を持って行動する。

☆お子様の発達、療育等に関してのご相談がある場合は、必ず入園前にご相談ください。

麻生学園アスター幼稚園の充実した環境

子ども達は、素晴らしい施設・環境の中で、安心・安全に過ごすことができ、笑顔あふれる幼稚園生活を送ることができます。



広い園庭

園庭には、子どもたちの笑顔と元気な声が溢れています。



室内

木のぬくもりを感じ、開放的で明るい室内です。



スクールバス送迎

安全第一を考えて送迎をします。(大型2台、小型1台で運行)



遊戯室

入園式、卒園式、発表会などをこの部屋で行います。



ICTの導入

子どもの登園、降園の際 ICTチップを使って保護者に知らせます。



麻生学園アスター幼稚園の特色ある保育内容 1

たのしいこと いっぱい！

・・・育ちの心をサポートします・・・



広い園庭での固定遊具、移動遊具遊びや砂遊び、伝承遊び等を通して丈夫な身体と自発性、社会性を育てます。



いろいろな行事を体験することにより、活動する意欲ややりとげた喜び、自信が芽生えます。又、子どもの夢の世界が豊かに育ちます。



年長組は、いろいろな職場を訪問し、働く人への感謝の心を育てます。



秋には、麻生学園小学校の芋畑に年長すみれ組が行き芋ほりを行います。芋がどんな風にできるのか観察しながら芋ほりを楽しめます。

幼稚園では、1年間の季節や行事等に合わせて様々な制作を行っています。その作品をみんなで鑑賞する作品展を開きます。子どもたちの表現力や感性が磨かれていきます。



麻生学園アスター幼稚園の特色ある保育内容 2

○麻生フェスティバル

麻生学園幼稚園 10 園の園児・職員が一堂に会し、楽しい麻生フェスティバルを毎年開催しています。
(年長組のみ参加)



○誕生会

毎月誕生会を行い、みなでお祝いをします。一人一人、何歳になったかを紹介したり大きくなったら等の発表をします。



○園内観劇会

幼稚園にプロの劇団を呼んで、人形劇等を上演しています。
間近で生の舞台を観ることができます。



○保育時間内の活動

体育教室 (年中・年長児対象)

幼児体育専門の指導者による体育指導を年中・年長児対象に行っています。
マット、跳び箱、鉄棒、ボール、縄跳び等を学年に応じたカリキュラムで身体を動かす楽しさを経験します。



英語教室 (年中・年長児対象)

毎週木曜日に、九州情報大学のクリス・フリン先生がウクレレで英語の歌を歌ったり、ゲームをしたりして英語に親しむ時間を時間を作ってくれます。



○保育時間外の活動 (希望者のみ)

サッカー教室 (年中・年長児対象)

あじさいスポーツクラブの専任コーチによる指導です。(週 1 回 金曜日)

ヤマハ音楽教室

ヤマハ音楽教室の先生によるピアノの個人レッスンが行われています。
(週 1 回 火曜日から金曜日)

イトマンスイミング

イトマンスイミングのバスが、幼稚園に迎えに来ます。(週 1 回 月曜日)

※各教室の詳細は入園後にご案内のお手紙が出ます。

